

演習問題 (1日目)

非圧縮性材料の変形と構成則に関する以下の問題 I, II に答えよ。ただし, 厚み方向の変形はないものとする。

問題 I 図のような一様変形(一軸引張り, 単純せん断)を考えると, 変形に関する運動 (motion) は,  $\alpha$  と  $\beta$  を任意の実数としてそれぞれ次のように与えられる。

$$(a) \text{ 一軸引張} \quad \begin{Bmatrix} x_1 \\ x_2 \end{Bmatrix} = \begin{bmatrix} 1 + \alpha & 0 \\ 0 & \frac{1}{1 + \alpha} \end{bmatrix} \begin{Bmatrix} X_1 \\ X_2 \end{Bmatrix}$$

$$(b) \text{ 単純せん断} \quad \begin{Bmatrix} x_1 \\ x_2 \end{Bmatrix} = \begin{bmatrix} 1 & \beta \\ 0 & 1 \end{bmatrix} \begin{Bmatrix} X_1 \\ X_2 \end{Bmatrix}$$

以下の問いに答えなさい。

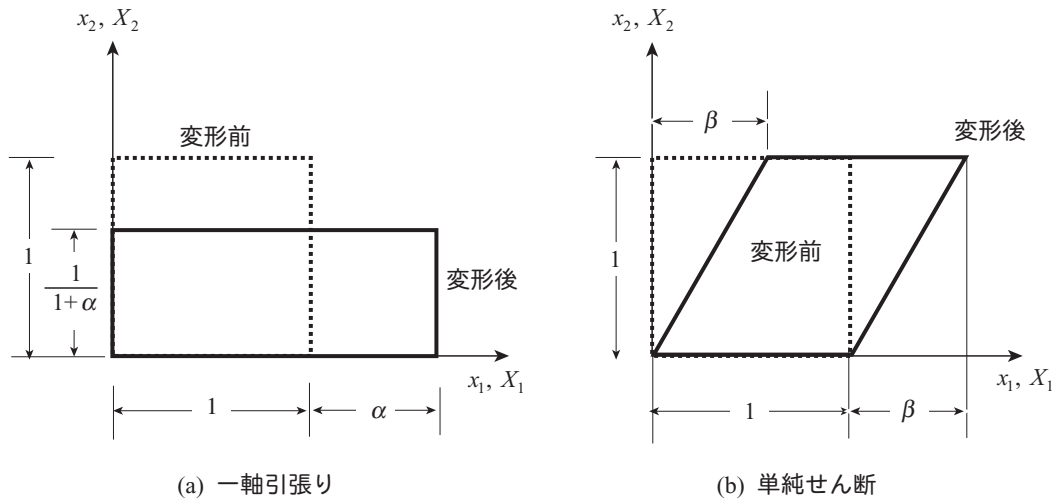


図 1: 運動の状態

(1) それぞれの変形について変形勾配テンソル (Deformation gradient)  $F$  を計算せよ。

$$F = \frac{\partial \mathbf{x}}{\partial \mathbf{X}}; \quad [F_{iJ}] = \left[ \frac{\partial x_i}{\partial X_J} \right] = \begin{bmatrix} \frac{\partial x_1}{\partial X_1} & \frac{\partial x_1}{\partial X_2} \\ \frac{\partial x_2}{\partial X_1} & \frac{\partial x_2}{\partial X_2} \end{bmatrix}$$

(2) それぞれの変形について, 右 Cauchy-Green テンソル  $C = F^T F$ , 左 Cauchy-Green テンソル  $b = F F^T$  を求めよ。

- (3) 一軸引張りの変形勾配テンソルについて左右の極分解を行え。<sup>1</sup>ただし,

$$\begin{aligned} F &= RU = VR \quad (\rightarrow R = FU^{-1} = V^{-1}F), \\ U &= C^{1/2}, \quad V = b^{1/2}, \\ R^T R &= RR^T = I \end{aligned}$$

- (4) Green-Lagrange のひずみテンソル  $E$ , Euler-Almansi のひずみテンソル  $e$  を求めよ.

$$\begin{aligned} E &= \frac{1}{2}(F^T F - I) = \frac{1}{2}(C - I) \\ e &= \frac{1}{2}(I - F^{-T} F^{-1}) = \frac{1}{2}(I - b^{-1}) \end{aligned}$$

問題 II 構成則に関する以下の設問に答えよ.

- (1) 左 Cauchy-Green テンソル  $C = F^T F$  の不変量

$$\begin{aligned} I_1 &= \text{tr} C = C : I \\ I_2 &= \frac{1}{2}(I_1^2 - \text{tr} C^2) \\ (I_3 = \det C = (\det F)^2 = J^2 = 1) \end{aligned}$$

について,  $C$  の固有値  $\lambda_1^2, \lambda_2^2, \lambda_3^2$  で表せ.

- (2) 非圧縮性のゴム材を考え, 弾性エネルギー関数が次式で与えられているものとする.

$$\mathcal{W}(I_1, I_2) = c_{10}(I_1 - 3) + c_{01}(I_2 - 3) \quad \text{and} \quad I_3 = 1 \quad (\text{Mooney-Rivlin モデル})$$

このとき,  $c_{10} = 5.0, c_{01} = 3.0$  として, 以下の構成則を具体的な形に展開せよ.

$$S = \frac{\partial \mathcal{W}(I_1, I_2)}{\partial E} + pJ C^{-1}$$

ここで,  $p$  は圧力,  $S$  は第 2Piola-Kirchhoff 応力テンソル,  $E$  は Green-Lagrange のひずみテンソルであり, 不変量の偏微分に関しては以下の式を利用せよ.

$$\frac{\partial I_1}{\partial C} = I, \quad \frac{\partial I_2}{\partial C} = I_1 I - C, \quad \left( \frac{\partial I_3}{\partial C} = I_3 C^{-1} \right)$$

- (3) (2) で求めた第 2Piola-Kirchhoff 応力テンソル  $S$  による構成則の式を, 第 1Piola-Kirchhoff 応力テンソル  $P$ , Kirchhoff 応力テンソル  $\tau$ , Cauchy 応力テンソル  $\sigma$  に変換して求めよ. ただし,  $P = FS, \tau = F S F^T, \sigma = \frac{1}{J} \tau$  である. なお,  $\tau, \sigma$  については  $b = FF^T$  に置き換えて答えよ.
- (4) 問題 I の一軸引張りの変形状態を考え, 設問 (2), (3) で求めた各応力テンソルの成分を  $\alpha$  の関数として表せ.
- (5) 【宿題】 供試体の測点間の初期形状が, 長さが  $L$ , 断面積が  $A$  の直方体を仮定して, 問題 I の変形を与える. このとき, ロードセルの測定荷重を  $P$ , 測点間の変位を  $u$  として, 上で求めた構成則を  $P$  と  $u$  の関係として与えなさい.

<sup>1</sup>単純せん断については Power Point より解説する.